

# 一般質問

# ココがききたいQ&A

9人の議員が一般質問

### 質問事項

- ◆地域公共交通・デマンドタクシー制度の拡充
- ◆おみがわ看護専門学校運営に係る財源問題
- ◆高齢者等の補聴器購入へ補助制度の新設導入を

## 根本義郎

ねもと よしろう 議員

看護専門学校の閉校は撤回されたが、県に財政支援を



### 質問事項

- ◆GIGAスクールの取り組み
- ◆デジタル教科書
- ◆ヤングケアラー

## 成毛伸吉

なるけ のぶよし 議員

ヤングケアラーの認知と早期発見を



- 問** 早い段階で見つける事が重要だと思いが、どのように把握に努めるか。
- 答** 各学校において、担任に提出する生活記録ノート、定期的なアンケート実施及び教育相談を活用します。また、教育委員会においては悩み事全般について相談できる、香取市ホットダイヤルやいじめメール相談についてさらなる周知を図ります。
- 問** 教育と福祉が連携し包括的な支援が必要だと考えるが、どのように関わっていくか。
- 答** 教職員は、子どもと接する機会が長いため、ヤングケアラーを発見しやすい立場にあると言えます。教職員向けのリーフレットの配布などにより理解を深め、早期発見に取り組むとともに、関係課・関係機関による必要な支援につなげます。
- 問** GIGAスクール構想の進捗状況は
- 問** 校務用端末のクラウド化はどうなっているか。
- 答** 全ての小中学校において、児童生徒の出欠や成績管理を行う校務支援システムについてクラウド化をしています。また、校務支援システムのデータについては、セキュリティの観点から、校務用端末で当該校の職員のみで取り扱う設定となります。
- 問** 今後の取り組みは。
- 問** 独法化移行後、看護専門学校の財政対策は
- 問** 看護専門学校運営支援を、千葉県に要望すべきではないか。また、周辺・関係自治体にも運営支援の協調補助を求めているどうか。
- 答** 今後も、補助事業等の情報収集や県との協議を行い、様々な支援の可能性について研究します。また、茨城県側の隣接する自治体への財政的支援を要望しています。
- 問** 高齢者の補聴器購入に補助制度の導入を
- 問** 高齢者の認知症予防対策及び豊かな社会生活のための補聴器購入費に助成制度新設導入を。
- 答** 補聴器購入費用の助成については、国や他市の動向に注視しながら研究します。
- 問** 瑞穂地区・みずほ台から循環バスを神崎駅・神崎クリニック等へ延伸運行を。
- 答** 循環バスの神崎駅方面への延伸については、まずは、市内運行での利便性向上を図りたいと考えますので、今後の利用者の要望や利用状況等を踏まえ、その必要性を検討します。
- 問** 公共交通の空白エリアである飯島・多田島・川尻等地域にワゴン車の運行を。
- 答** 飯島・多田島・川尻方面の運行の検討について



高齢者の生活の足となる循環バス

- 答** 今後は自分の考えをまとめ、共同学習を行ったり各自の考えを発表したりと、「思考や表現するためのツール」として活用します。
- 問** 教科書は紙とデジタルの併用を
- 問** デジタル教科書を試験導入していることだが、メリット・デメリットはどのように考えているか。
- 答** デジタル教科書のメリットについては、拡大表示が簡単にできること、動画や音声再生ができること、関連するコンテンツにアクセスできること、学習過程を記録として残すことができることなどが挙げられます。デメリットとしては、児童生徒の目に負担がかかること、破損や故障が生じたときの対応が心配されることなどが挙げられます。
- 問** 住民自治協議会と福祉タクシーボランティア活動により、地域の「足の確保」のシステムを構築するための条件整備の課題は。
- 答** 運行経費に充てる会費等の給付を利用者に求める場合は、全て有償運行になります。法律の要件整備、運用の詳細は明らかであり、具体的な相談に応じて十分な精査が可能であると考えます。
- では、高齢者の通院など生活の足として公共交通を必要とする要望があり、その必要性を認識しています。今後、福田や栗源での実証運行の利用状況等を検証し、それぞれの地域特性を把握した上で当該運行要望に係る具体的な対応を検討します。

